

## 平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人ヒラタ学園大阪航空専門学校では、平成 27 年度から教育活動について、実施状況を総合的かつ客観的に把握することにより、問題点を明らかにするとともに、PLAN、DO、CHECK、ACTION というサイクルを実効的なものとするため、「学校自己評価」を実施するとともに、学生の日常関係者、関係業界、教職員から成る「学校関係者評価委員会」において再評価を実施することといたしました。

この度の委員会においても、各委員から貴重なご意見やご提言を頂戴し感謝申し上げます。頂戴いたしましたご意見等につきましては、学校運営の改善、教育の質の向上等に反映させていただくことにより、教育活動の充実・強化に取り組んで参ります。

関係者の皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 7 月 27 日（金）

学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校

校長・学校関係者評価委員長 梶谷 勝弘

### 学校関係者による評価について

#### 1. 学校関係者評価委員会委員

委員氏名	所 属	備 考
海老名 巖	公益社団法人 日本航空技術協会 常務理事・総務部長	業界団体 関係者
浦田 信雄	サンコー・エア・セルテック株式会社 代表取締役社長	業界企業 関係者
高見 恭司	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社 営業本部 副本部長	業界企業 関係者
菅田 智裕	CKTS株式会社 管理部長	業界企業 関係者
世古 益宏	株式会社Kグランドサービス 総務人事部長	業界企業 関係者
平田 光弘	学校法人ヒラタ学園 航空事業本部長	学園関係者
小倉 保徳	美菜家 統括マネージャー（学生食堂運営）	学生関係者
加藤 喜代美	賃貸マンション経営者 提携学生寮	学生関係者
梶谷 勝弘 （委員長）	大阪航空専門学校 校長	学内関係者
田村 成彦 （書記）	大阪航空専門学校 教務部長	学内関係者

## 2. 実施要領

学校関係者評価委員会は、「学校自己評価報告書」に対する再評価をお願いするものである旨をお知らせするとともに、事前に学校関係者評価委員の皆様へ「学校自己評価報告書」を送付したうえで、開催することといたします。

## 3. 評価結果の公表

学校関係者評価委員会でいただいた評価は、「学校関係者評価報告書」として取りまとめ、今後の学校運営の改善、教育活動の向上に活かすとともに、ホームページにて公表します。

## 4. 評価項目毎の学校関係者評価

評価項目に対する学校関係者の評価、ご意見等について報告します。

評価は、4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切として記載します。

### 4.1 教育理念・目標 評価 3 (ほぼ適切)

- ・教育理念・目標については、明確にされており、学校案内やホームページで周知されていること、また、学科目標や育成人材像についても同様に公開されていることも確認しました。ただし、これら理念・目標が正しく伝わっているかどうか心配するとの意見がありました。
- ・業界ニーズを調査した結果については、教育課程編成委員会や学内運営会議等で活用され、より良い教育指導のあり方としてカリキュラムに反映されていることを確認しました。また、昨年度検討するとされていた専門職大学等について、触れられていなかったため確認したところ、当分の間、労働人口の高齢化等に対する企業ニーズに対応することなのでしばらく見守ることとします。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。

### 4.2 学校運営 評価 4 (適切)

- ・学校運営については、理事会をはじめ、評議員会、教職員会議等が組織され、また、意思決定機能は明確、かつ、有効に機能していると評価します。
- ・教育活動における「学校自己評価」や当該「学校関係者評価」については、ホームページで公表されており、これを評価します。
- ・コンプライアンスに係る事項ですが、体制は整っており適切に整備、運用されていることですが、時々情報流出の報道があります。学校は非常に多くの個人情報を取扱っていますので、間違いが起らないよう引き続きお願いします。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。

### 4.3 教育活動 評価 4 (適切)

- ・教育課程編成委員会の提言や業界ニーズを取り入れたカリキュラムで授業が行われているとともに、所要の資機材（2tタイプのフォークリフト購入等）については適宜に整備され、実践的な職業教育が行われていると評価します。各学科とも就職先企業からの出向教員が実践的な教育を行っている点については、引き続き高く評価します。
- ・その他意見として、多くの委員から、昨年同様、人間力（社会基礎力）の低下を懸念する意見があり、これら人間力の向上に向けた取り組みをお願いするとのこと。

#### 4.4 学修成果 評価 3 (ほぼ適切)

- ・毎年 95%以上の内定率を維持している点については引き続き評価します。
- ・退学率の低減については、経済的な理由など対策が困難な問題もありますが、学生の満足度アップに引き続き努力されるよう期待します。
- ・メンタルヘルスについては、教員に対する研修を行うとともに、授業の中に「メンタルヘルス」の時間を組入れた学科もあり改善が図られているとのことですが、一般的にはメンタル弱者が増えているように感じているので、対応に注意が必要です。
- ・卒業生のキャリア形成状況について調査され、その結果は教育指導内容がキャリア形成に役立っていると確認されたことを評価します。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。

#### 4.6 学生支援 評価 3 (ほぼ適切)

- ・就職支援、学生相談については、適切に対応ができていると思われませんが、メンタルヘルス等の専門的分野については体制の整備が必要だと思われる。
- ・学生の奨学金制度や学費の分割制度等、学生を経済的に支援する制度は整っているとのことですが、奨学金の返済に苦労している卒業生も多いとのこと。返済不要の奨学金制度が期待される。
- ・卒業生への支援体制については、大きな問題はないと確認しました。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。

#### 4.7 教育環境 評価 4 (適切)

- ・施設、設備は、必要に応じて導入・更新されており問題ありません。
- ・インターンシップ体制も整備されています。引き続き積極的な推進をお願いします。
- ・学生の自主学習を支援するほか、必要に応じて教師が個別に指導を行っていることを高く評価します。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。

#### 4.8 学生の受け入れ募集 評価 4 (適切)

- ・大阪府専修学校・各種学校連合会 高等学校進路指導協議会との協定の中で、適切に学生募集活動が行われていると評価します。
- ・一方、学生募集は、少子化に伴い厳しい環境の中におかれていることも確かであり、本校の独自性や魅力を的確に表現し、子供たちに伝える努力を続けていく必要があると思います。
- ・教育成果として、就職率や就職先企業名がホームページで公開され、オープンキャンパス等においても、その実績が伝えられており評価します。
- ・昨年度ご提案をいただいた企業と連携した映像作りは、行ったとのことと評価します。
- ・ドクヘリ事業を通じたPRについては暫時進めているとのこと。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。

#### 4.9 財務 評価 4 (適切)

- ・財務状況は極めて健全で問題点はなく、また、これら情報についてもホームページ上で公開されており、これを評価します。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。

#### 4.10 法令等の遵守 評価 4 (適切)

- ・「学校自己評価」及び「学校関係者評価」については、ホームページ上で公開されていることから、これを評価します。
- ・また、その他の評価項目についても適切と評価しますが、SNSなど情報通信技術の進展が目覚ましいため、個人情報の管理には注意を怠らないようお願いします。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。

#### 4.11 社会貢献・地域貢献 評価 4 (適切)

- ・引き続き小中高生を対象にした校外授業の受入れや国家試験等の会場として学校施設を提供するなど、直接的な貢献や省エネ活動に取り組むなど間接的な貢献も行われており評価します。
- ・ボランティア活動、公開講座等に関しても、学科による強弱はあるものの実施される範囲が拡大されているとのことであり評価します。
- ・その他に関しては特に意見等ありません。